

あゝが隊 新聞 Vol.74

TENRYUMURA ARIGATAI SINBUN

2019年5月24日
編集:本多 紗智



上野真純

本多紗智



特別企画として
協力隊OB/OG
近況報告が
あります!!



刻々天龍村 皐月便り

地域おこし協力隊 本多紗智

今年も中井侍のお茶シーズンが始まり、令和初の摘み作業に参加してきました。見渡す限りの新緑が目に眩しく、今年もまた美味しい新茶を飲めることがとても嬉しいです。

春～夏の期間は、冷蔵庫の中に水出し中井侍茶を常備しています。キンキンに冷えた緑茶は最高！ペットボトルのお茶が飲めなくなります。



天龍村紹介冊子作成のため、神原地区の集落をカメラ片手にウロウロしていたら、沢山の植物や昆虫に出会いました。蝶や蜂だけでも色々な種類を見ることが出来ました。

辺り一面、緑が沢山広がっていることだけが「自然豊か」なのではなく、様々な動植物が共存していることこそが本当の意味での「自然の豊かさ」なのではないかなとつくづく感じます。

だいぶ克服しましたが実は虫が苦手なのはここだけの話。



元号が令和に変わって、もう1ヶ月が経ちますね。

5月9日(木)に、今年最初のお茶摘みをしました。作業をするのに快適な曇り空で行うことができました。できたての新茶をおいしくいただきながら天龍村で採れた旬の山菜も、おいしく食すことができました。翌日は、筋肉痛になりました。また少しずつ体を動かしていくと思います。



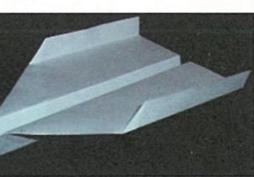
5月上旬の班回覧で5月13日(月)から6月14日(金)まで、分別の仕方が良くないので袋を開けてチェックします。」というチラシがありました。「体、誰が袋の中をチェックするのかな。」と思いました。もしも、チェックするのが男性なら袋を開けられる女性は嫌なのではないかと思いました。

また、ある人に缶を潰して回収日に出したら回収されなかつたと聞きました。その時、何で?と思いました。実家の神奈川では缶は潰すよう言われていました。市町村によってゴミの分別の仕方が異なるのも変だなと思っていたのですが、なぜ、缶を潰してはいけないのか理由を知りたくなりました。納得する理由があれば、缶を潰さずに出そうと思います。ゴミに関して考えるいい機会になりました。

所、多目的スペースを作りたいと考えています。飲食店の許可がないので、料理を提供することはできませんが、来客した人と料理を作ったり、折り紙を使って工作したり、将棋などをしたいと考えています。第1回目は、折り紙を使ってカレンダーを作る予定です。

6月3日(月)午前9時から開けます。開業記念と私の誕生日なのでロールケーキと「一ヒー

を用意します。是非、お越しください。



にせんじカフェは、引き続き毎週水曜日の午前11時から午後2時まで営業しています。生姜焼き定食、カレー、チャーハン、焼きそば(みそ汁・サラダ付き)を提供しています。全て500円です。

皆様のお越しをお待ちしています。



6月から、遠山百貨店を借りて人が集まる場

初瀬健太

まえたの天龍山暮らし～入門～

ただいま茶師見習いとして一生懸命学ばせていただいている。詳しくは次号にご報告します！

特別企画

あいつ今何してる？



内藤有香

悠太

息子は年少になりました。もうすぐ仲間と川合でやっている田植えがはじまります！8月に第二子（男）を出産予定です。走ったら2日下腹が痛くなつたのでスローペースで生きています。



現在 集落支援員3年目。
昨年入籍し河本から牧野になりました。

毎週金曜日13:30～
福祉センター 1階和室
「自力整体」開催中！
老若男女初めての方もお気軽にご参加ください！

西野
はるか
明花

去年12月に生まれた息子は先日から離乳食に挑戦中です。

お茶摘みのお手伝いも行つきました。

子連れで色々なところに参加します。その際はよろしくお願ひいたします。

～村でみかける
協力隊OBOGの今をほんの少しお届けします～

文:前田 美沙



最近の村澤家を1枚の写真に詰め込みました！



東京のIT企業で働いています。日々残業と満員電車に悪戦苦闘しながらもなんとか生きてています。

今でも月に一度ほど天龍村に関わることをしている気がします。次は6月のツアーで村に行きます。お世話になった全ての方にご挨拶できないのが悲しいですが、すれ違った際にはお手柔らかにお願いいたします笑



3月に大学を卒業し、春から同じ学部の大学院に進学しました。同時に、飯田で子どもキャンプを行なっている団体で弟子入り修行中です。大学院や飯田での活動を通して学んだことを持つて大好きな天龍村に戻ることが今の目標です！

また村で出会った時はお声をかけていただけると嬉しいです。

そんなこんなで季節は足元や山肌を染めながら自由気ままに歩んんでいるわけですが、自分はそんな季節に何とか食らいついでいる毎日です。先月の新聞に水稻の育苗という分岐点が迫つてきているなんてことを書きましたが、どうにか（ホントにどうにか）突破中で、水やりか

う。ちなみに、主要な花にはそれぞれ誕生花があるんですねが、今日（五月十四日）の誕生花が偶然にも紫のオダマキでした。

今月は以上！



ら始まる一日に心底ホッとしています（やや揃いなところはご愛敬）。種粒の浸種から現在までの方法を調べ尽くして、イメトレをして、準備してきましたが、ひと時のようでは天龍村を駆け抜けて行ったのも遙か過去のことを想像すると、「桜」が「駆け抜ける」ことなく花咲か爺さんが、これまたトナカイではなく鹿に引っ張られて日本列島を縦断して咲かせた春の贈り物のようです。春から初夏にかけて、桜だけではなく、野花たちがちらちらと顔を覗かせて楽しませてくで、意識しているせいか視界にふつと入つてきます。調べてみると七十品種程あるらしく、さらに毎年のように新たな園芸品種が作られています。自分が六品種しかみたことがなく、まだ未知の世界です。もう少し足を踏み入れるために趣味でオダマキを栽培してみると面白いかも・いや、間違いなく面白いだろといま書きながら思いつきました。やろ

かでも、今は恵みの雨です、感謝！、冬に雪も積もらなければ恵みのか山水が酷くか細いです。一つの水路から複数の田んぼに一度に入水できず田植え後の水管理が少々心配。山から直接引いだり、とても綺麗な水ではあるんですね。冬とは違う空気が大河内全体に流れています。冬だけではなく、田植えを終えると景色も一変して、季節に追いついたような、次期に夏が来ることを意識させるような雰囲気を去年は感じました。

今年もツメガキ主催のお茶摘みツアー・緑茶カフェ「茶むらい」を開催！

6月土・日(カフェ10時～16時) 中井侍駅すぐ上

素敵な景色を見に、美味しいお茶を飲みに遊びに来てください。

